

## 飯能市乗合ワゴン（南高麗地区）実証運行 実績報告書

飯能市乗合ワゴン（南高麗地区）実証運行の運行実績等について、以下のとおり報告する。

### 1 実績概要

項目	実績
(1) 運行期間	令和4年9月1日～令和5年8月31日（1年間）
(2) 運行便数	<b>総合計</b> <span style="float: right;"><b>2,714 便</b></span> ・ 小学校便 <span style="float: right;">1,610 便</span> ・ 南高麗地区行政センター便 <span style="float: right;">552 便</span> ・ 苺生便 <span style="float: right;">552 便</span>
(3) 利用者数	<b>総合計</b> <span style="float: right;"><b>7,454 人</b></span> ・ 小学校便 <span style="float: right;">5,508 人</span> ・ 南高麗地区行政センター便 <span style="float: right;">1,008 人</span> ・ 苺生便 <span style="float: right;">938 人</span>
(4) その他	車いす利用対応件数 <span style="float: right;">1 件</span> 事故件数 <span style="float: right;">0 件</span>

▶ 大きな事故などはなく、安全に運行ができています。また、車いす対応のための事前予約による運行は1件であった。

### 2 利用実績

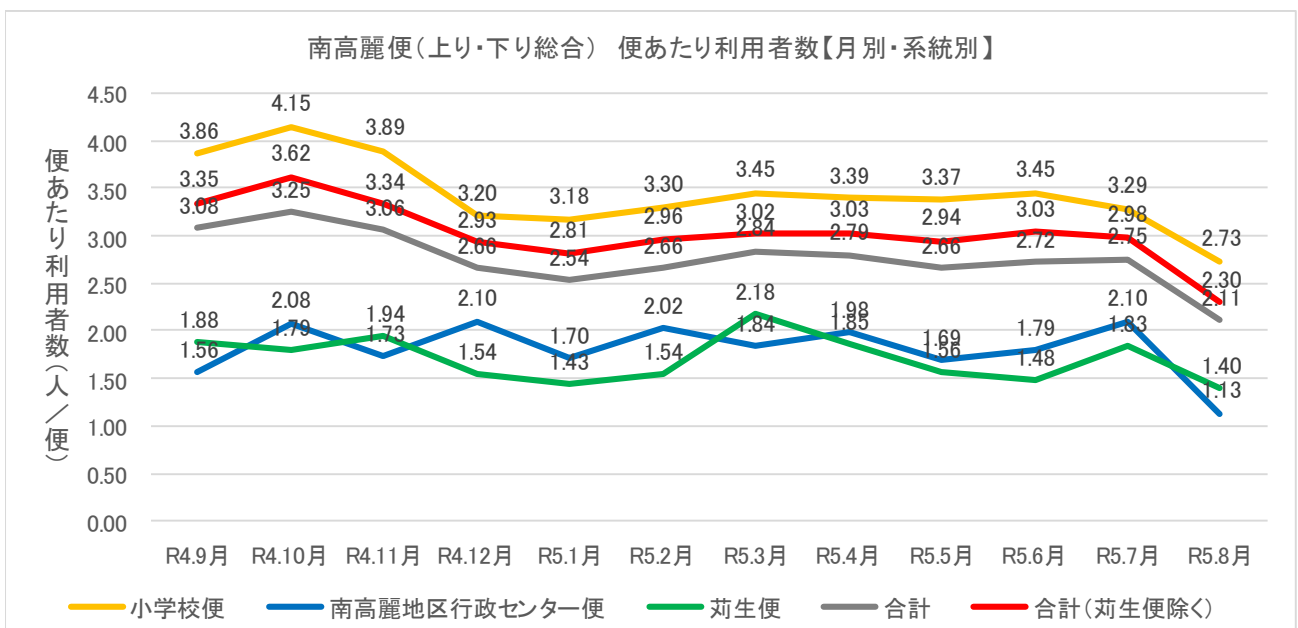
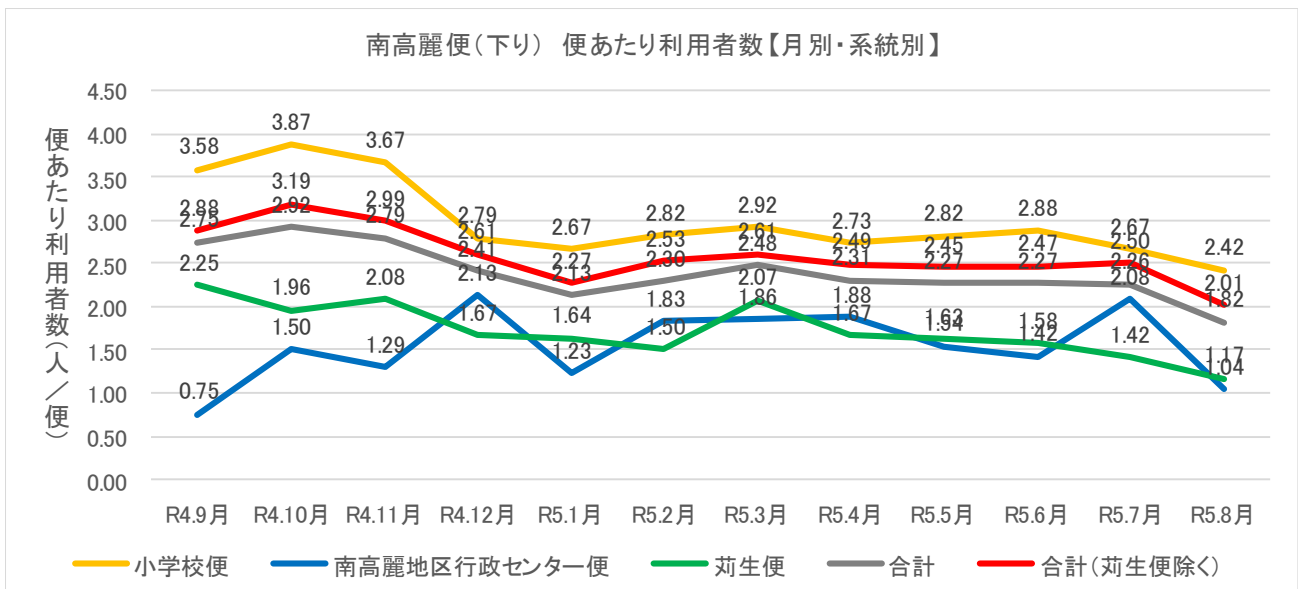
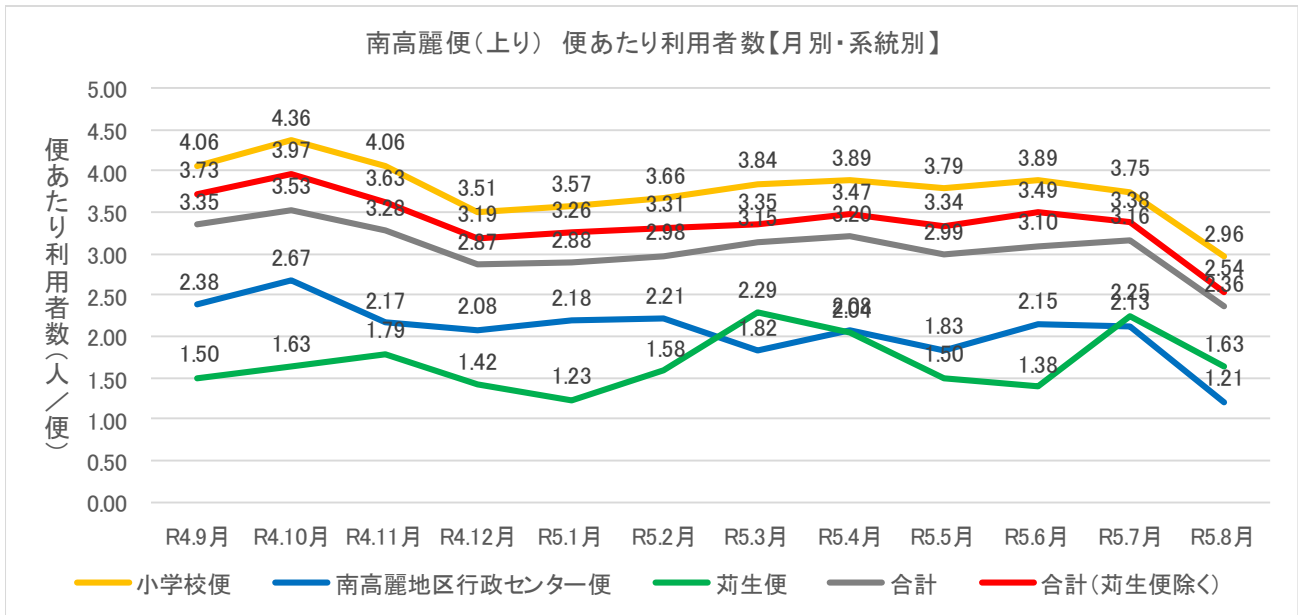
(1) 系統別・便あたり利用者数 ※1便=1運行（片道）として算出

系統	便数（便）	利用者数（人）	便あたり利用者数（人/便）
小学校便	上り	920	3.467
	下り	690	2.041
南高麗地区行政センター便	上り	276	567
	下り	276	441
苺生便	上り	276	471
	下り	276	467
合 計	上り	1,472	4,505
	下り	1,242	2,949
合 計（苺生便を除く 国庫補助対象系統）			<b>3.01</b>
目標値			<b>1.50</b>

※1 往復あたり3人

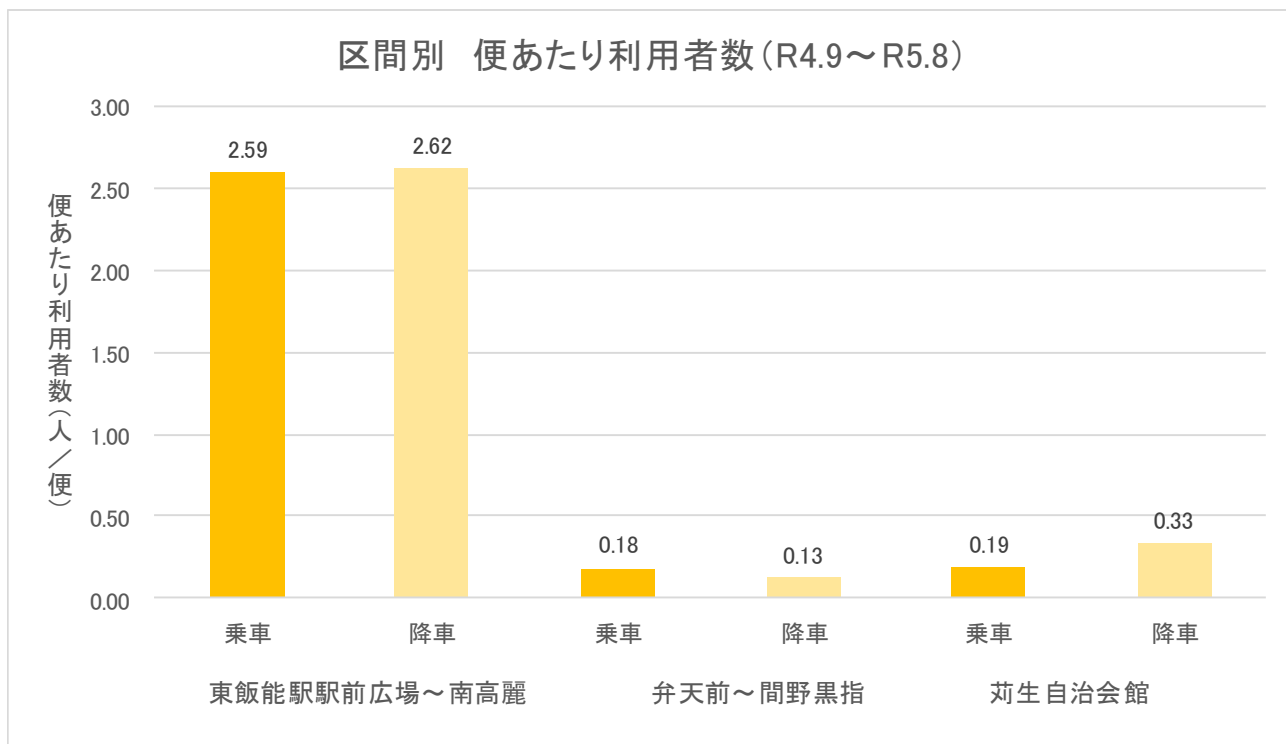
▶ 全体としては、当初設定した目標値（=1.50人以上）を達成している。  
 ▶ 今後、目標値の再設定が必要である。

(2) 系統別・便あたり利用者数（月別グラフ）



- ▶ 小学校便については、児童の長期休み期間に利用者数が減少する傾向にある。
- ▶ その他、季節や時期などによる利用者数の大きな変動は見られない。

(3) 区間別・便あたり利用者数 ※1便=1運行(片道)として算出



- ▶ 弁天前~間野黒指間(=時計台から奥)について、利用者が少数であった。(便あたり0.2人弱)
- ▶ 荻生地区の交通空白解消のために設定した荻生便について、荻生自治会館での利用は比較的少数であった。(便あたり0.3人程度)

(4) 便別・便あたり利用者数 ※1便=1運行(片道)として算出

①上り

便目	系統	発時刻	便あたり利用者数
1	小学校便	7:45	4.65
2	小学校便	8:59	4.13
3	南高麗地区行政センター便	10:03	3.14
4	苺生便	11:25	2.21
5	南高麗地区行政センター便	12:26	0.96
6	苺生便	13:27	1.20
7	小学校便	15:09	2.15
8	小学校便	16:13	4.14

- ▶ 1便目の小学校便について、南高麗小学校児童(3人)の登校のため、安定的に利用者がいる。
- ▶ 8便目の小学校便について、南高麗地区内のハートフル農園の従業員により利用されている。

②下り

便目	系統	発時刻	便あたり利用者数
1	小学校便	8:31	4.30
2	南高麗地区行政センター便	9:35	0.59
3	苺生便	11:00	1.39
4	南高麗地区行政センター便	11:58	2.60
5	苺生便	13:02	1.99
6	小学校便	14:41	3.23
7	小学校便	15:45	1.34

- ▶ 1便目の小学校便について、ハートフル農園の従業員により利用されている。
- ▶ 6~7便目の小学校便について、南高麗小学校児童(3人)の下校のため、安定的に利用されている。

### 3 課題・問題点の整理（利用者からの意見を含む）

No.	項目	課題・問題点
(1)	運行経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間野黒指～南高麗（時計台）間の輸送 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が少数である。（便あたり利用者数 約0.2人）</li> </ul> </li> <li>●苅生便の輸送 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が少数である。（便あたり利用者数 約0.3人）</li> </ul> </li> </ul>
(2)	時刻表	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時刻表がタイト ▶ <b>R5.9.1～本格運行のダイヤ改正により是正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転士の安全確認や休憩のための十分な時間が確保されていない。</li> </ul> </li> <li>●苅生便の運行間隔が短い ▶ <b>R5.9.1～本格運行のダイヤ改正により是正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苅生便利用者の市街地での滞在時間が短い。</li> </ul> </li> </ul>
(3)	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時刻表のわかりずらさ、見ずらさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統ごとの行先の違いや名栗本線との接続などの関係から理解が難しい。</li> </ul> </li> </ul>

#### ※以下、原市場地区との共通事項

No.	項目	課題・問題点
(1)	持続的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運行収入以外の収入源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度の収支率 原市場系統 7.0% 南高麗系統 8.7%</li> <li>・持続性の観点から地域からの協賛制度などの検討が必要である。</li> </ul> </li> </ul>
(2)	DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運行情報のオープンデータ化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホなどで経路検索できない状態である。</li> </ul> </li> <li>●乗降データの収集方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、運転士がメモで記録しており、収集できるデータが限られている。</li> <li>・利用状況のモニタリングや運行内容の見直しのためのデータが適切に収集できない。</li> </ul> </li> </ul>